

第 48 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2018.9.4 熊山 ともみ

『リンゼス錠 0.25mg について』

アステラス製薬 釘井 創作さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：木村 亜希子、薦田 麻利子、波間 薫、安元 穂子、熊山 ともみ

便秘を訴える患者さんは年齢、男女問わず、増加している。以前は刺激系下剤を頻用することが多かったが、習慣性などの副作用が問題視されている。近年、新しい作用機序の便秘症治療薬が発売されている。リンゼス錠は便秘型過敏性腸症候群だけの適応だったが、慢性便秘症にも適応がとれたとのことで一般的によく処方されるようになった。

【効能・効果】

- ・便秘型過敏性腸症候群
- ・慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）

【用法・用量】

通常、成人にはリナクロチドとして 0.5mg を 1 日 1 回、食前に経口投与する。
なお、症状により 0.25mg に減量する。

【禁忌】

1. 機械的消化管閉塞又はその疑いがある患者
2. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副作用】

臨床検査値異常を含む副作用発現症例は 66 例（13.8%）であり、主な副作用は下痢 44 例（9.2%）であった。

【特徴】

- ・腸管内に水分を吸収させ、排便を促す。
- ・体内に吸収されない為、併用禁忌、併用注意の薬剤がなく、高齢者に使用しやすい。
- ・新しく発売された便秘治療薬の中で薬価がもっとも安い。

【考察】

比較的、酸化マグネシウムを処方されることが多い中、高齢者では腎機能低下や高マグネシウム血症が懸念される副作用である。リンゼス錠の主な副作用としては、挙げられるものは下痢くらいで、併用禁忌・注意もないことから使いやすいと言える。食後に服用すると下痢の副作用発生頻度が多くなることが報告されているため、投薬時には食前での服用を再確認したい。

リンゼス錠は根本を治療する薬ではなく対症療法のため、服用中断すると便秘に戻ってしまう。下痢治療は止まったら治療終了だが、便秘治療は下痢治療とは異なり、改善具合は患者さんの満足度次第であることがポイントと考える。薬の併用に伴い、食事、運動習慣、ストレス解消等、生活習慣の見直しも含めサポートしていきたい。